

## 野津田公園ばら広場の移転計画の再検討を求める請願

ばら広場は2001年に最初の植え付けが始まり、2019年現在は広々とした芝生に植えられた380種840株のバラは日本で一番のんびりできるバラ園としてネットで紹介されました。通年開放のバラ園としては小田急沿線では最も大きなバラ園として多くの市民が訪れ親しんでいます。福祉施設関係の見学や他県からも団体で来られ写真愛好者の撮影会が行われ町田市フォトサロンでは「野津田公園バラ作品展」が毎年恒例となっています。

○ 町田市は、野津田公園にテニスコートを新たに12面作る事を目的として、ばら広場を移転先の確定もせずに、移転を強行しようとしています。2013年には公園内バスロータリーの歩道わきに植え込み的にバラを植える、この案に対して町田ばら会は、反対の要望書、続いて議会請願(2015年3月)を提出しました、この時は継続審議、6月議会直前に公園緑地課長の要請によりばら会と話し合い、①面積は4000㎡以上確保するとなり②ばら会から出された要望は全部認めると言う事で合意に達したので請願を取り下げました。しかしながら2019年1月に公園内道路脇街路樹の下に植え込み的にバラを植える案が市より出され、ばら会に拒否されると2019年2月に公園内道路脇法面と子供の遊び場を合わせた所で面積を2800㎡に縮小し、更にばら広場移設工程表案までつけてきました。

○ ばら広場は19年の歴史をもった活動をしています。ばら広場を移動してテニスコートを作るのは市民の思いや活動を無視した計画ではありませんか、工事費の面からも、計画を強行するためには大規模な埋め立てが必要で膨大な費用がかかります。むしろ現テニスコートに隣接して追加のテニスコートを作れば費用も少なく済むはずで、

以上から私たちは、このばら広場移転計画について、町田市が英断をもって再検討を行い、そのために市民や関係者と十分な話し合いを進めるよう要望いたします。

### 請願事項

1. ばら広場の移転、テニスコート造成の計画を再検討し白紙に戻してください
2. ばら広場の現在地での存続を図り、移転関連予算の執行は凍結してください